



2020年8月11日

各 位

会 社 名 株式会社ミズホメディー
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 唐川 文成
 (コード番号：4595 東証第二部)
 問 合 せ 先 取締役経理部長兼総務部担当 佐々木 寛
 (電話番号：0942-85-0303)

**2020年12月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異
 及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ**

2020年3月19日に公表しました2020年12月期第2四半期累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたこと、また、最近の業績動向を踏まえ、2020年12月期通期(2020年1月1日～2020年12月31日)の業績予想並びに配当予想について、下記のとおり修正(未定)することを併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

(1) 2020年12月期 第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異
(2020年1月1日～2020年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------------------------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) (2020年3月19日公表) | 百万円 2,168 | 百万円 26 | 百万円 27 | 百万円 14 | 円 銭 1.51 |
| 実績値 (B) | 1,663 | △129 | △129 | △93 | △9.84 |
| 増減額 (B-A) | △505 | △155 | △157 | △108 | — |
| 増減率 (%) | △23.3 | — | — | — | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2019年第2四半期実績) | 2,846 | 434 | 435 | 313 | 32.93 |

(2) 差異の理由

新型コロナウイルス感染症の拡大や感染拡大防止策の影響により、新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため受診控えが広がり医療機関の外来患者が減少したことなどにより、5月及び6月において感染症全般の検査需要が予想以上に大幅に減少しました。

肺炎球菌/レジオネラ検査薬やマイコプラズマ検査薬の売上高は計画を上回ったものの、主に小児の呼吸器感染症を検査項目としたRSV/ヒトメタニューモウイルス、アデノウイルス、A群β溶連菌検査薬等の大幅な減収を補うことができず、売上高は前回発表予想を505百万円下回りました。

営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、経費全般にわたり節減に努めましたが、大幅な減収に伴い各利益も前回発表予想を下回る結果となりました。

2. 業績予想の修正について

(1) 2020年12月期 通期業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) (2020年3月19日公表) | 6,100 | 829 | 831 | 620 | 65.10 |
| 今回修正予想 (B) | 未定 | 未定 | 未定 | 未定 | 未定 |
| 増減額 (B-A) | — | — | — | — | — |
| 増減率 (%) | — | — | — | — | — |
| (ご参考)前期実績 (2019年12月期) | 6,427 | 1,111 | 1,111 | 874 | 91.80 |

(2) 修正の理由

5月末に緊急事態宣言が解除され、段階的に社会経済活動が再開されるとともに医療機関の外来患者数も回復傾向にあります。しかし、人の往来の増加に伴い新型コロナウイルスの感染者の報告数も増加してきており、収束時期が見通せないなか、検査薬の需要回復のスピードは非常に読みにくい状況であります。また、次シーズン(2020/2021)のインフルエンザ検査薬につきましても、今後の新型コロナウイルス感染症の流行の動向及びその対策がインフルエンザの流行や検査需要にどの程度の影響を与えるのかを予測することは困難であります。

一方、2020年8月6日に公表しましたとおり、『全自動遺伝子解析装置 Smart Gene[®]』を用いた『スマートジーン新型コロナウイルス検出試薬』(研究用試薬)の発売を2020年8月中旬以降に予定しております。新型コロナウイルス感染症の検査体制の拡充に貢献し、当社の売上高にも寄与するものと期待されますが、当事業年度の業績への影響につきましては、現在精査中であります。

以上のことから、現時点では不確定な要素が多く、通期業績予想の合理的な算定が困難であると判断したため、2020年3月19日に公表しました通期業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。算定が可能となった段階で速やかに公表させていただきます。

3. 配当予想の修正について

(1) 2020年12月期配当予想の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

| | 年間配当金 (円) | | |
|------------------------|-----------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回予想 (2020年3月19日公表) | 0.00 | 20.00 | 20.00 |
| 今回修正予想 | — | 未定 | 未定 |
| 当期実績 | 0.00 | — | — |
| 前期実績 (2019年12月期) | 0.00 | 29.00 | 29.00 |

(2) 修正の理由

当社は、業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定する方針を採っております。この方針に基づき、配当性向30%を目標として配当を実施するよう努めております。

2020年12月期の期末配当予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから未定としておりますが、配当予想が決定した時点で速やかに公表いたします。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上